



2022年度のスタートに当たって

～ 創立25周年の重みと理念を考える ～

代表理事 佐藤年夫

2022年5月25日第21回通常総会が開催されました。今年も昨年、一昨年と同様、新型コロナウイルス感染防止の観点から書面表決による総会となりましたが、2021年度の事業報告と決算書及び2022年度の事業計画と予算書は、参加した全会員の皆様から賛成及び承認を頂きました。本当にありがとうございました。

また、執行体制は一部の役員に交代がありましたが大半の役員は留任となりました。今後2年間どうぞよろしくお願い致します。

さて、宮城県のコロナ感染者は次第に減少しつつありますが、収束にはまだ時間がかかるものとみられ、調査活動には今後とも制限が予想されます。コロナ対策には万全の対策を講じて活動を進めて参ります。

早いもので、一万人市民委員会宮城県民の会は、今年で創立25周年を迎えました。

これもひとえに関係者の皆様の厚いご支援の賜物と深く感謝いたします。振り返りますと、私が一万人市民委員会と出会ったのは、15年前の創立10周年の記念フォーラムに参加した時でした。

あの時は認知症の母親を在宅介護し、悪戦苦闘の真っ只中でした。それがきっかけで、一万人市民委員会の調査活動に関心を持ち、調査員と

して関わらせて頂くことになりました。

あれから15年が過ぎ、私自身も次第に体力の衰えを感じるようになり、もう介護される立場になったことに気づかされます。そんな時、あの辛かった母の介護の10年間は思い出されます。介護は本当に辛く切ないものです。

辛いため、母を憎み、精神的に追い詰められていきました。そんな時、聞いたある講演会の話が忘れられません。『私たちの人生には「役割の価値」と「存在の価値」がある。

人は役割を果たせなくなっても、ただ存在しているだけで価値がある』というものでした。

その時の母は、親として母として何の役割も果たしていません。ただ存在していただけでした。しかし、そんな母でも時折介護している私に笑顔を見せたり、私の頭を撫でてくれました。

その時は本当に母を愛おしく思いました。

そして辛くてももう少し介護を頑張ってみようと思いを奮い立たせてくれました。

さて、一万人市民委員会の理念の中に、「人間の尊重」・「人間性の回復」・「自立支援」が目標に掲げられています。この「存在の価値」の視点は、一万人市民委員会の調査活動にも参考になるのではないかと考えています。

第21回通常総会 が開催されました

第21回通常総会はコロナ感染防止の観点から少数の出席者と書面評決方式として5月25日13時から仙台市生涯学習支援センター第一セミナー室で開催しました。仮議長に荒井勝子氏を選出し、事務局から正会員総数106名中書面評決提出者58名、総会出席者21名合計79名の報告があり、仮議長が定款27条の条件を満たしていることを確認し総会成立を宣言しました。

佐藤代表理事の「今年度もコロナ禍の中、予防対策など細心の注意を図りながらの活動を望む」の挨拶に続き議長に嶺岸とも子氏を選出、議事録署名人に團順

子氏、佐藤はるみ氏を選任し、議案審議に入りました。各議案の審議、評決結果は下表のとおりでした。

今年度は役員任期満了の時期に当たり第5号議案で役員改選が行われました。

遠藤千代会員、堀川禎則会員が新たに理事に選任され、高野剛理事、佐藤博子理事が退任されました。

以上で審議が終了し、議長の解任挨拶と閉会のことばで締め括りました。

退任されました高野理事、佐藤理事当会役員の業務執行ありがとうございました。



評
決
結
果

第1号議案	2021年度事業報告の承認	◇賛成:79	◆反対・無効:0
第2号議案	2021年度決算報告の承認	◇賛成:79	◆反対・無効:0
第3号議案	2021年度監査報告の承認	◇賛成:79	◆反対・無効:0
第4号議案	2022年度事業計画(案)		
	2022年度活動予算書(案)	◇賛成:79	◆反対・無効:0
第5号議案	役員改選(案)	◇賛成:79	◆反対・無効:0
その他審議事項	なし		

お疲れ様でした!!

～～ 理事退任の挨拶 ～～

♡♡♡ 佐藤 博子 ♡♡♡

昨年、母が自宅で転倒しほとんど歩けない状態となり、要介護4に判定され、ヘルパー、ディサービス、ショートステイ、老健等を利用しながら毎日介護に明け暮れたため、調査活動はほとんど出来ず、皆様にはご迷惑をおかけいたしました。

「一万人市民委員会」入会以降、何も解らない私が続けられて来たのは、皆様の温かいご指導のお陰と感謝しております。また色々な施設を訪問したことで、母の介護施設を探すのに大変参考になりました。

お世話になって本当に良かったと思います。

理事会に参加して感じた事は、理事の方々が他方面でも色々と活躍され、それを基にして「一万人市民委員会」を良くするため、活発な意見交換をしている事に感心しました。

ただ残念なのは、その活動が理事以外の方々にあまり伝わっていない様な気がしています。私もそうですが、少しでも「一万人市民委員会」の活動に接して、積極的に関わって行きたいと思います。皆様もいかがでしょうか。

これからも皆さまにご迷惑をおかけすると思いますが、母の介護をしながら続けて行きたいと思いますので、今後ともよろしくお願いたします。



♡♡♡ 高野 剛 ♡♡♡

以前より患っていた膝の手術を行い、現在はリハビリを兼ねた自宅周辺の散歩に努めております。

理事就任中(平成24年から10年間)は大変お世話になりました。ありがとうございました。

【お詫びと訂正】

『前141号3頁の令和3年度調査・活動状況で、「◆地域密着型 サービス外部評価調査」の

・訪問調査 19施設 → 103施設、

・テレビ電話方式リモート調査 103施設 → 19施設の誤りでしたので訂正いたします。』

よろしくお祈いします!!

～ 事務局長・理事就任の挨拶 ～



「風通しの良い事務局」を目指して

事務局長 伊藤 友行

昨年から一万人市民委員会の事務局の一員として、調査・評価活動の業務を担当してきましたが、自分自身、いまだに事務局の仕事の全体像を把握しきれないまま、何事にも精通している仲野前事務局長の業務を引き継ぐという大役を仰せつかり、責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

当会は、今年設立25周年を迎えることとなりましたが、これからの永続的な会の活動継続を想うと、コロナ禍の折、評価・調査活動における介護施設関係者との直

接的な対話不足や会員同士の交流の機会の不足から、相互の信頼関係の希薄が危惧されます。

これまで会員の皆様には、それぞれの分野で長年培ってきた経験と知識を活かして、当会の理念である『介護の社会化のさらなる進化』の基、福祉サービスの向上に貢献されてこられました。今後は調査活動では「安全第一」で健康に留意して、さらに活躍をして頂ければ有難いと思っております。

微力ながら、事務局スタッフと共に『風通しの良い事務局』を目指して頑張っていきたいと思っておりますので、会員の皆様のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



「明るさと笑顔」を忘れず

理事 遠藤 千代

親の老後に備えてと、介護の勉強を始めてから23年になります。勉強してきたことは、介護生活に大いに役立っています。さらに現在は訪問介護士として活動し、在宅で生活をしている方の支援もしています。

在宅で過ごす方の事例は多数見てきましたが、いざ、身内が介護施設を利用する事になった時、施設の在り方に興味がわきました。

その時、友人から一万人市民委員会を紹介していただき、入会して早いもので6年目を迎えています。

調査活動や評価委員会では、いつも緊張してしまう私が理事を引き受けてしまったことに、少々後悔を感じているところですが、私の座右の銘「笑う門には福来る」苦しい時にも明るさと笑顔を忘れずに活動していきます。

そして諸先輩の助言をいただきながら、微力ではありますが、一万人市民委員会の発展のため努力していきたいと思っております。皆様、今後ともよろしくお祈いいたします。



「更なる発展」への努力

理事 堀川 禎則

右も左も解らず、訪問調査と言われても何の事やら???ばかりの中で、研修に参加してからもうすぐ2年です。いずれお世話になるといながらも、介護には無縁の考え方が抜けていませんでしたので、研修での用語に四苦八苦でした。研修や実践の訪問でも、同行して頂いた皆さんには今でも迷惑の掛け通しです。仙台より北の気仙沼までの、施設等の管理者様との会話や資料で確認させていただきますが、報告には出ない会

話からのコミュニケーションも必要と感じております。

まだ2年の若輩が理事と言う事で一万人市民委員会の運営に、参画させて頂く事になりました。四半世紀の歴史ある一万人市民委員会が、更なる発展に向かえる様に微力ながら努力してまいりますので、宜しくお祈い致します。

*** お知らせ ***

事務局の夏休みは

8月12日から8月17日

迄です



コロナ禍での癒しの時

会員 吉野勝美

一万人市民委員会に入会、平成27年夏から始まった「外部評価」、29年秋には「情報の公表」へ転向。「健康と体力維持のため」と思って始めたのが、7年間経過しています。

この他にも、ゴルフコンペ会の幹事(7月に152回目)、歩け歩け歴訪会(年8回)の参加、町内会役員(3期6年)などの日程が入ります。退職後の時間の持て余しは杞憂でした。

しかし令和2年からのコロナ禍で、活動・行事が軒並み中止続出で、殆んど自宅監禁状態となりました。その中で、週1回来る4歳の孫娘の存在が大変癒しになっています。

自宅隣地の遺跡公園用地^注で大小のシャボン

玉を飛ばしたり、凧を揚げたり、自転車の練習したり駆け回ります。

孫娘は夕方には母親と帰りますが、決まって「また来るよ」と言い放って手を振り振り帰ります。じいじとばあばは「またおいで」と小さな手にハイタッチして見送ります。

誠に自然な普通の老後を過ごしています。

(注): 『史跡・^{かんが}仙台郡山官衙遺跡』

平成19年7月指定された飛鳥時代～奈良時代(7世紀後半から8世紀初め)の役所(官衙)跡です。

規模、構造、経営年代から見て太平洋側の陸奥における城柵で多賀城の前身施設と考えられる。

◆◆なんでも相談会のご案内◆◆

法律、成年後見関係の分野に限らず、会員やその家族、知人の方がお持ちの生活全般に関わる「困りごと」「悩みごと」などなんでも相談会です。

令和4年7月から10月までの開催日程は下記のとおりです。

☆開催日程

- ✿ 7月20日(水) 相談役 安田 廣治 司法書士
- ✿ 8月10日(水) 相談役 武田 貴志 弁護士
- ✿ 9月21日(水) 相談役 安田 廣治 司法書士
- ✿ 10月21日(金) 相談役 武田 貴志 弁護士

【編集後記】

「評判」には、『世間で噂をすること』との意味があり、「噂」には『物事や人の身の上について陰で話をする』の意味がある。しかし、「評判」や「噂」は、事実であれ、偽りであっても「好評」、「悪評」に繋がり、特に後者は他言が重なることで誇張され、その本人を大きく傷付けることがある。

「評判・噂」を発する人は、自分の悪い面を隠して相手の悪い面を誇張することが多い。しかし、その話を聞いた際は「鵜呑みでの誇張、他言」はせず、その本人の言い分を確かめ、「評判・噂」の誤解を解いてやる勇気を持って欲しい。かつて自分はその対応を教えられ、事由を説明すると同時に、自分に非がある場合は相手に謝罪するようにして来た。何故なら、いつまでも嫌な思いで付き合いたくないからである。

また、「評判・噂」を聞いただけで人を「評価」することは、自分の「評価」にも繋がるものだと思うから。

(曾根)



特定非営利活動法人
 介護の社会化を進める
 一万人市民委員会宮城県民の会

編集委員 遠藤 千代 兼平 幸雄 工藤 俊廣
 曾根 務 出口 香 張間 佳代